

◆広報担当より - Web ページってどう作るの? -

山澤一誠

広報担当 (奈良先端科学技術大学院大学)

昨年, 大会実行委員の広報担当を依頼された. 聞くと広報担当は Web ページの作成が仕事だそうだ. しかし, 私は困った. 私は HTML タグなど覚えていないし, PHP プログラムなどしたことがないからだ. デザインセンスなんてあるわけがない. せいぜい Web オーサリングソフトのデザインテンプレートを使ったホームページを作ったことがあるぐらいだ. そんな大会用の Web ページなんて作れるわけがない. ということで焦っていると, 日本 VR 学会事務局から東京大学の林さんを紹介された. 彼は大会の Web ページを作成した経験があるらしく, PHP プログラミングなどにも長けているとのことである. 早速, 林さんをお願いしてみると, ころよくアルバイトを引き受けていただけだ. さらに作業見積もりまで出してもらえた. これは頼りになるとシステムの作成などをお願いした. さらにデザインに関しては事務局も手伝っていただけとのこと. システムとデザインがそろえば, あとはコンテンツさえそろえば何とかなるということで私は主にコンテンツ集めをすることになった. 最初にしっかりしたシステムを作るのに少し時間がかかったものの, 林さんにはすばらしいシステムを作っていただき, ネットワーク越しにコンテンツの修正が可能になった. こうなったら調子が出てくる. 大会実行委員各位から出てくる大会 Web ページに対するリクエストを林さん, 事務局, 私で対応し, Web ページの更新

を行っていった. 様々なリクエストに応じていたおかげで幹事ほどではないものの大会全体を把握できていたのではないかと思われる. 今回は特にシステムに対するリクエストが発生し, それに応じて林さんに PHP プログラムを作成・更新していただいたおかげで, かなりよくできた大会 Web ページ用のシステムになったと自負できる. 今年度だけでなく来年度以降もシステムは使用できるように作っている. 是非来年度以降もシステムを使用してもらいたい. 最後に他にも多くの仕事があるのにデザインを手伝っていただいた事務局と, 自分の論文原稿もあり, とうとう途中で救急車に乗ることになってしまった林さんには感謝を伝えたい. ありがとうございます. ちなみに林さんは有限会社トライアックスというベンチャー企業の取締役であり IT ソリューションの仕事をしている. なにか IT 関係で困ったことがあれば彼に相談するのもいいと思う.

◆出版担当より

真鍋佳嗣

出版担当 (奈良先端科学技術大学院大学)

第9回大会の出版委員として運営に携わったなかで, 最も印象に残ることは大会論文集を CR-ROM 化したことである. 近年, 他学会においても論文集を電子化する傾向があり, VR 学会の第9回大会実行委員会でも予稿集の電子化の議題は早くから挙げられていた. 予稿集の電子化は4月の実行委員会で思いのほかすんなりと決定された.

予稿集の電子化は重たい予稿集を持ち歩かなくて良いという利点がある半面, 大会期間中の論文の閲覧が困難となる. そのため, CR-ROM 論文集に加え会場で閲覧するための抄録集の作成を行った. 抄録集の体裁は出版委員の判断で決まった部分が多いが, 各論文の抄録に加え, 論文を代表する画像を1枚掲載することにした. 抄録集掲載用の画像が著者らから収集できるか不安であったが, 多大なるご協力のおかげで約80%という高い収集率を実現できた. その結果, 35セッションで発表される口頭発表と作品・技術展示を合わせた約200件の抄録と, プログラムなどを加えた約130ページから構成される抄録集に仕上がった.

表紙は, 今回の会場, 新しくなった百周年時計台記念館を題材にした CG と, 招待講演の真鍋先生の講演の題材にもなっている曼荼羅をモチーフとした絵を採用し

大会 Web ページ